



2021年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ナガオカ
 コード番号 6239 URL <http://www.nagaokajapan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅津 泰久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 楯本 智也 TEL 06(6261)6600
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第3四半期の連結業績（2020年7月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	4,499	△8.5	622	△28.7	710	△17.4	485	△21.2
2020年6月期第3四半期	4,918	43.6	873	87.2	860	108.7	615	79.8

(注) 包括利益 2021年6月期第3四半期 704百万円 (32.4%) 2020年6月期第3四半期 531百万円 (57.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	69.37	—
2020年6月期第3四半期	88.82	—

(注) 当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第3四半期	6,384	3,757	58.9
2020年6月期	6,345	3,031	47.8

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 3,757百万円 2020年6月期 3,031百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年6月期	—	0.00	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,318	△1.8	838	△22.1	926	△11.4	642	△8.8	91.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：有
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期3Q	7,078,400株	2020年6月期	7,078,400株
② 期末自己株式数	2021年6月期3Q	29,199株	2020年6月期	149,160株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期3Q	6,995,807株	2020年6月期3Q	6,932,592株

（注）当社は、2020年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、2020年6月期3Qの「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、経済活動の再開による持ち直しが期待されましたが、感染が再拡大したことで緊急事態宣言が再度発令されるなど、厳しい状況が続いております。海外においても、ワクチン接種が進むことで経済活動・社会活動の正常化へ期待が高まる一方、ワクチン普及の格差や変異株による感染拡大が懸念され、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く事業環境については、新型コロナウイルス感染症の影響による企業の設備投資意欲の減退や経済活動の制約の影響により厳しい状況となっております。

このような状況の下、水関連事業では、国内を中心に案件の掘り起こし、具現化に注力しております。また、工場稼働準備を進めていたNAGAOKA VIETNAM CO., LTD.では本稼働に向け製造技術の習得・向上に努めており、実案件の製造を視野に入れる段階となりました。今後は、ベトナム国内における営業活動を進めてまいります。エネルギー関連事業では、新規プラント設備への投資が回復している中国において営業活動を積極的に進めており、複数の大型案件の受注を獲得しております。また、従来では受注に消極的であった製品群についても原価低減の検討を進め、受注獲得を目指しております。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は4,499,435千円（前年同期比8.5%減）、営業利益は622,458千円（前年同期比28.7%減）、経常利益は710,059千円（前年同期比17.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は485,272千円（前年同期比21.2%減）となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりです。

① 水関連事業

水関連事業では、取水設備向けの販売は、新型コロナウイルス感染症の影響を営業面で受けているものの、実績は堅調に推移しております。一方、ケミレスを中心とする水処理装置については、国内では営業面で新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの、案件の掘り起こし・具現化に注力しており、受注に至った案件もあり、引き続き営業活動に注力してまいります。海外においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、日本から現地へ赴いて営業活動ができない状況が続いておりますが、ベトナムでは子会社であるNAGAOKA VIETNAM CO., LTD.を拠点にして、また、マレーシアでは現地代理店を活用して、案件の掘り起こし・具体化を進めてまいります。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、海外向けの水処理装置の販売が落ち込んでおりますが、国内向け取水設備の販売が堅調に推移していることから、売上高738,361千円（前年同期比15.5%増）、セグメント利益61,971千円（前年同期はセグメント損失63,618千円）となりました。

② エネルギー関連事業

エネルギー関連事業では、新型コロナウイルス感染症による世界経済の停滞長期化の懸念等から新規の石油精製・石油化学プラント建設に向けた動きが鈍い状況が続いております。新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進むことで経済活動・社会活動の正常化が期待されるものの、先行き不透明感が強く、欧米を中心にプラント設備投資は回復の兆しが見えておりません。一方、中国では、経済の回復とともに設備投資意欲が回復しており、同国における新規プラント建設需要を中心に積極的に営業活動を行った結果、複数の大型案件の受注を獲得することができました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、前期以前に受注済みの大型案件の製造が進捗したことにより売上を下支えしておりますが、新たに受注した大型案件の製造は当四半期時点では着手しておらず、売上高3,761,074千円（前年同期比12.1%減）、セグメント利益943,684千円（前年同期比27.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は6,384,215千円となり、前連結会計年度末に比べ38,816千円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金が285,742千円、原材料及び貯蔵品が226,055千円減少した一方で、投資その他の資産のその他が201,246千円、流動資産のその他が181,332千円、現金及び預金が78,606千円、仕掛品が55,894千円、無形固定資産が34,850千円増加したことによるものです。

負債合計は2,627,048千円となり、前連結会計年度末に比べ686,373千円減少しました。これは主に、長期借入金が150,000千円、支払手形及び買掛金が139,903千円増加した一方で、短期借入金が643,447千円、流動負債のその他が378,873千円減少したことによるものです。

純資産合計は3,757,167千円となり、前連結会計年度末に比べ725,189千円増加しました。これは主に、配当金の支払69,292千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益485,272千円の計上により利益剰余金が415,979千円増加したこと、為替換算調整勘定が154,386千円増加したこと、自己株式が82,649千円減少（純資産は増加）したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2020年8月7日に公表しました2021年6月期の通期連結業績予想を修正しました。なお、当該予想に関する詳細は、本日（2021年5月14日）公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,069,612	1,148,218
受取手形及び売掛金	2,697,707	2,411,965
商品及び製品	5,915	7,829
仕掛品	165,040	220,934
原材料及び貯蔵品	560,428	334,373
その他	296,830	478,163
貸倒引当金	△6,808	△5,839
流動資産合計	4,788,726	4,595,645
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	635,222	668,567
機械装置及び運搬具 (純額)	238,457	245,808
リース資産 (純額)	70,188	63,688
建設仮勘定	18,303	2,913
その他 (純額)	74,448	78,656
有形固定資産合計	1,036,621	1,059,633
無形固定資産	300,567	335,417
投資その他の資産		
繰延税金資産	66,055	38,842
その他	153,428	354,675
投資その他の資産合計	219,484	393,517
固定資産合計	1,556,672	1,788,569
資産合計	6,345,399	6,384,215

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	412,121	552,025
短期借入金	1,329,308	685,861
1年内返済予定の長期借入金	—	50,000
未払法人税等	226,310	59,010
賞与引当金	—	47,207
役員賞与引当金	—	102,400
その他	891,205	512,331
流動負債合計	2,858,946	2,008,835
固定負債		
長期借入金	100,000	250,000
違約金負担損失引当金	204,937	226,871
退職給付に係る負債	76,198	77,477
資産除去債務	1,826	1,828
その他	71,512	62,035
固定負債合計	454,474	618,212
負債合計	3,313,421	2,627,048
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,253,241	1,253,241
資本剰余金	777,755	785,195
利益剰余金	1,152,176	1,568,156
自己株式	△102,755	△20,106
株主資本合計	3,080,417	3,586,487
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△64,857	△125
為替換算調整勘定	16,418	170,804
その他の包括利益累計額合計	△48,439	170,679
純資産合計	3,031,978	3,757,167
負債純資産合計	6,345,399	6,384,215

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
売上高	4,918,112	4,499,435
売上原価	3,139,809	2,929,628
売上総利益	1,778,302	1,569,807
販売費及び一般管理費	904,838	947,349
営業利益	873,464	622,458
営業外収益		
受取利息	8,378	6,060
為替差益	—	60,388
スクラップ売却益	19,831	17,482
補助金収入	11,278	11,571
その他	5,842	16,274
営業外収益合計	45,331	111,777
営業外費用		
支払利息	22,528	21,162
為替差損	35,843	—
支払手数料	212	2,921
その他	157	93
営業外費用合計	58,742	24,177
経常利益	860,053	710,059
特別利益		
固定資産売却益	—	3,552
特別利益合計	—	3,552
特別損失		
固定資産除却損	235	83
特別損失合計	235	83
税金等調整前四半期純利益	859,817	713,528
法人税等	244,034	208,897
法人税等調整額	—	19,359
法人税等合計	244,034	228,256
四半期純利益	615,783	485,272
親会社株主に帰属する四半期純利益	615,783	485,272

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	615,783	485,272
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△47,521	64,732
為替換算調整勘定	△36,395	154,386
その他の包括利益合計	△83,917	219,119
四半期包括利益	531,865	704,391
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	531,865	704,391

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

税金費用の計算は、従来、見積実効税率により税金費用を算定していましたが、第1四半期連結会計期間より、税金費用をより適切に四半期連結財務諸表に反映するため、原則的な方法に変更することといたしました。

なお、当該会計方針の変更による前第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っていません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エネルギー関連	水関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,279,079	639,032	4,918,112	—	4,918,112
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,279,079	639,032	4,918,112	—	4,918,112
セグメント利益又は損失(△)	1,307,031	△63,618	1,243,412	△369,948	873,464

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△369,948千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エネルギー関連	水関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,761,074	738,361	4,499,435	—	4,499,435
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,761,074	738,361	4,499,435	—	4,499,435
セグメント利益	943,684	61,971	1,005,655	△383,197	622,458

(注) 1. セグメント利益の調整額△383,197千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。